



準決勝

伊田テクノス(本社)3(5)ー1(1)NX商事(本社)

【大将】福居 田子 山内

副将・図末の勝利でリードを奪った伊田テクノス。大将戦、上段に構える山内に対して見事な戦いぶりを見せた福居。鋭いコテで一本奪うと(写真)、直後に同様のコテを追加



準決勝

NTT(本社)1(2)代ー1(2)NTT東日本(東京)

【代表】山田 子 尾野

同門による準決勝は代表戦に突入。引き分けに終わった中堅同士の再戦は、試合開始すぐに山田のコテが炸裂(写真)。全日本選手権大会3位の戦績を誇る山田がチームを決勝へと導いた

第64回関東実業団剣道大会 2部門ともに三連覇!

令和5年6月4日(日)日本武道館 主催◆関東実業団剣道連盟

取材◆岡井博史 撮影◆編集部

コロナ禍からの復活を果たした実業団大会には、
一般の部には222チーム、
女子の部には77チームがエントリー。
前回大会より参加チームが増した熱戦を制したのは
2部門ともに伝統ある強豪チームだった。

一般の部

盤石の戦い、 NTT(本社)

チーム	順	先	次	中	副	大	得点
NTT(本社)		河	新	山	丸	兵	3
		寄	名	田	山	藤	
		メ	メ	メ	メ	メ	2
伊田テクノス(本社)		前	三	内	図	福	1
		田	好	田	末	居	0

決勝

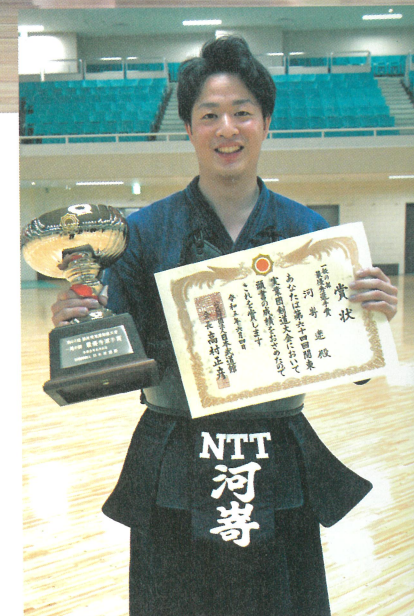
【副将】丸山(NTT・本社)ドメー② 図末(伊田テクノス・本社)

先制を許した丸山が底力を見せた。思い切った逆ドウで一本を返せば(写真)、その後も攻め手をゆるめず最後は強烈なかつぎメンを追加。逆転勝利でチームの優勝を決めた



優勝◆NTT(本社)

兵藤裕則(30歳)、丸山大輔(26歳)、山田将也(26歳)、新名敬介(25歳)、河寄遼(24歳)、金成邦彦(31歳)。監督=三代大輔(47歳)



最優秀選手◆河寄遼(NTT・本社)

帝京第五高校(愛媛)→中央大学出身
今大会は7戦全勝の大活躍となった

新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、近年は中止、参加チームの減少などイレギュラーな大会が続いた実業団大会だが、前回大会では183チームと多数のチームがエントリー。そして今回はさらにチーム数は増加し、2022ものチームが日本武道館に集い、関東の頂点を争った。

大会を制したのは実業団剣道界でも強豪として名高いNTT(本社)だった。直近の大会となる昨年9月の全日本実業団大会では2位に甘んじたNTTだったが、その強さは疑いようもなく、今大会でも緒戦の2回戦から準々決勝までひとつの黒星を喫することもない堂々たる勝ち上がりを見せた。

決勝戦、伊田テクノス(本社)との戦いで勝利を決めたのは副将の丸山。先制を許してからの逆転勝利に「一本取り返したあとは『俺で試合を終わらせる』という強い気持ちが湧いた」と試合中の心境を明かした。

チームを率いた三代大輔監督は「三連覇はNTTとしては初の記録。今日は素晴らしい記録に恵まれましたがやはり最終的な目標は日本」と力強く宣言。続く全日本大会への意欲を

64回関東実業団剣道大会

女子の部

伊田テクノス(本社)
強さを増して

準決勝

ランテック(東京本社)2(3)―0(1)東京海上日動(本店)

【大将】下川 ㊦ドーコ 太田

今年3月の全日本大会で2位入賞を遂げている東京海上日動。今大会でも準決勝進出を遂げたが大將戦の末に惜しくも敗退（写真は二本目のドウ）

準決勝

ランテック(東京本社)0(0)代—0(0)パナソニック(EW東京本社)

【大将】小川 コー 久徳

強豪同士の対戦はどちらもポイントを奪えぬまま代表戦に。大将同士が戦った代表戦。序盤戦に惜しいコテを放った小川はその技に手応えを感じたか、続けざまに狙いすましたコテを決めた（写真）

64回を数える大会の歴史のなかでも三連覇は初の偉業。近年の伊田テクノス(本社)の勢いはとどまることを知らない。

今大会決勝は前回大会と同カードのランテック(東京本社)との対戦となったが前回大会が代表戦での決着だったのに対して、今回は先鋒から三連勝とさらなる進化を見せた。

最優秀選手に輝いた先鋒の北條が「昨年はケガもあって本調子が出せなかったので、今回こ

それはという気持ちで臨みました」と大会への意気込みを語れば、矢野圭介監督は「選手3人とも実力者であり努力家。それだけに監督としては『彼女たちを優勝させてあげたい』という思いが強かったのでホツとした」と心境を明かした。

中堅の小川は現在世界選手権大会に向けた強化合宿に招聘中。矢野監督は「剣道部、会社としても世界大会での活躍を望んでいます」と期待を寄せる。

決勝

【先鋒】北條(伊田テクノス・本社)⊗コ— 松村(ランテック・東京本社)

伊田テクノスが試合の流れをつかんだのはこの先鋒戦。出ばなメンで一本を奪った北條は（写真）、その後出ゴテを追加して見事な二本勝ち

最優秀選手

北条李華(伊田テクノス・本社)

桐蔭学園高校(神奈川)→法政大学出身
今大会は4勝2分けの好成績でチームに貢献

優勝◆伊田テクノス(本社)

志藤綾子(30歳)、小川梨々香(24歳)、北條李華(22歳)、大久保美子(22歳)。監督=矢野圭介(45歳)

2位◆伊田テクノス(本社)
福居義久(23歳)、岡末悠介(30歳)、伊藤優樹(33歳)、三好俊成(27歳)、前田航輝(23歳)、内田貢市(45歳)。監督川佐々木誠(56歳)

3位◆NTT東日本(東京)
下村和弘(38歳)、原光生(22歳)、尾野大成(30歳)、渡部晃(32歳)、桜井大地(25歳)、後藤駿介(25歳)、監督Ⅱ下村和弘(38歳)

3位◆NX商事(本社)
山内三士郎(32歳)、保坂樹(25歳)、賀川篤仁(29歳)、木村謙二朗(29歳)、岩田真行(27歳)、監督丸山彰二(45歳)

N T T (本社) 2
 東 洋 水 産(品川) 0 3
 東 京 海 上 日 動(西東京) 3 0
 日 本 通 運(FBU) 2
 アールエフテクニカ(本社) 3
 日 本 通 運(本社) 1 2
 富士フィルムビジネスイノベーション(港) 0 1
 伊 田 テ ク ノ ス(伊那) 2 1
 アンド・フォー・エス(赤坂) 5 0
 匠 大 塚(本社) 0 1
 パナソニック(EW東京本社) 0 2
 三 井 住 友 海 上(新宿) 3 2
 三 菱 商 事(本店) 1 4
 東 芝 テ ッ ク (本 社) 1 本
 三 井 物 産(本社) 0 0
 東 京 海 上 日 動(東京中央) 3 0
 ソ ニ ー(本社) 1代 1
 キ リ ン 1 2
 ランテック(東京本社) 0 0
 三 井 住 友 銀 行(大手町) 2 1
 凸 版 印 刷(本社) 4 2
 C o m i n g 0 2
 NTT東 日 本(東京) 3 3
 東 和 ア ー ク ス(本社) 0

優勝・NTT(本社)

三 井 住 友 海 上(本店) 4
 ヤマダデンキ(本社) 3 0
 キ ヤ ノ ン 0 0
 JR東日本クロスステーション(本社) 0 3
 NX商 事(本 社) 4
 ト ー マ ツ (A) 0
 N T T (大 手 町) 3
 三 井 住 友 銀 行(東京) 0
 ALSOK(北 関 東) 1
 伊藤忠商事(外苑前支店) 3
 トッパンフォームズ東海 2
 東芝テック(東京支社) 2代
 ALSOK(東 京) 2
 伊 田 テ ク ノ ス(本社) 2
 NX商 事(東 京) 2
 J P ロジスティクス(江川町) 1
 伊藤忠商事(港区支店) 4
 A N A 2
 富士フィルムビジネスイノベーション(港) 0
 N T T 東 日 本(本 社) 3
 プロスバイラニユファクチャリング 1
 N T T 東 日 本(千 葉) 2
 望星サイエンス(横浜) 0
 富士フィルムビジネスイノベーション(本社) 4

※エントリー 222 チーム。4 回戦以上

準々決勝

NTT東日本(東京)2(4)—1(2)ソニー(本社)

【先鋒】桜井 ⊗コ— 多田

初の3位入賞にあと一歩まで迫ったソニーだったが、強豪NTTの牙城は高かった。先鋒・桜井は多田の二
けざまメンに転じて一本、さらに「二本目」とともにコテを追加し(写真)、31秒の速攻で勝利

準々決勝

NTT(本社)4(7)—0(0)三井住友海上(新宿)

【先鋒】河嵯 ⊗コ— 升谷

力強い出ばなメンで先制した河寄（写真）。続けざまにコテム追加して試合の流れを自陣に引き寄せた。河寄を受けたNTTはその後は次鋒、副将、大将と勝ち星を挙げる快勝

準々決勝

NX商事(本社)1(1)代—1(1)三井住友海上(本店)

【代表】山内 コー 本間

準々決勝

伊田テクノス(本社) 1(1)代—1(1)富士フイルムビジネスイノベーション(本社)

【代表】福居 コー 米満

中堅戦を伊田テクノス、副将戦を富士フィルムビジネスイノベーションが奪う展開で代に突入。大将の福居と次鋒の上段・米満の戦いは福居の鮮やかなコテで勝負あり（写真）

第64回関東実業団剣道大会



準々決勝

パナソニック(EW東京本社)0(0)代—0(0)丸運

【代表】富永 コー 池田

先鋒に三好、中堅に富永、大将に久徳という強力なメンバーを揃えるパナソニックに丸運が食らいつき、勝負は代表戦によって決することに。ここでは上段の富永が試合開始からすぐさまコテを決め(写真)、力を見せつけた



準々決勝

東京海上日動(本店)0(0)代—0(0)NTT東日本(東京)

【代表】太田 メー 長谷川

実力あるチーム同士の対戦は代表戦にて決着。東京海上日動からは大将の太田が、NTTからは中堅の長谷川が代表に立った。ともに警戒心を強めて臨んだ戦いは延長戦にもつれるが、最後は太田がメンを決めた(写真は攻防)



準々決勝

ランテック(東京本社)1(2)—0(0)NTT東日本(本社)

【大将】下川 ④コー 山田

先鋒、中堅が引き分けに終わって迎えた大将戦。NTTの山田が果敢にコテを仕掛けるも、下川はこれを受けざまメンに転じて一本先取。勢いに乗った下川は続いてコテも奪い(写真)、チームの勝利を決めた



準々決勝

伊田テクノス(本社)1(1)—0(0)NTT(本社)

【大将】志藤 × 松原

先鋒・北條が鮮やかな跳び込みメンを決めて先制した伊田テクノス。一本を追うNTT・松原が必死で攻めるが相手も実力者の志藤、そうカンタンには打たせてはくれない。結果大将戦ではポイントは発生せず、伊田テクノスが勝利した



2位◆ランテック(東京本社)

下川真優(24歳)、吉武礼絵(23歳)、松村朋香(24歳)。監督=森田行平(48歳)

3位◆パナソニック EW東京本社
久徳真子(26歳)、富永比奈野(27歳)、三好純安(28歳)、監督=千原英裕(48歳)



3位◆東京海上日動(本店)
太田麻友(25歳)、河村奈穂(27歳)、佐藤桃佳(22歳)、浜島有紀(42歳)、監督=宮原良太(38歳)



伊田テクノス(本社)	2	1	NTT東日本(東京)	1
パナソニック(EW汐留)	0	2	A L S O K(東京)	0
A L S O K(神奈川)	2	0	富士フイルムビジネスソリューション(港)	1
ランテック(湘南)	0	0	1本 J P ロジスティクス(江府川)	0
日本通運(本社A)	2	0	0代 東京海上日動(本店)	0
東芝テック(東京本社)	0	0	0代 富士フイルムビジネスソリューション(港)	1
セントラル警備保障(本社)	0	0	0代 セントラル警備保障(東京)	0
N T T(本社)	1	0	0代 東芝テック(本社)	3
東洋水産(本社)	0	0	2 NTT東日本(本社)	1
パナソニック(EW横浜)	1	0	0代 日本通運(本社B)	0
N T T東日本(千葉)	1	0	0代 セントラル警備保障(横浜)	1
ランテック(神奈川)	0	0	1代 ペアハグ(本店)	0
丸運	1	3	1 富士フイルムビジネスソリューション(本社)	1
日本IBM(本社)	0	0	1本 三千和商工	0
A L S O K(北関東)	2	0	0 三菱商事(本店)	2
富士フイルムビジネスソリューション(本社)	1	1	2 ランテック(東京本社)	0

※エントリー 77 チーム。3回戦以上